

# つくば市中心部における放置迷惑自転車に関する研究 - A study of illegally parked bicycles in center of Tsukuba city -

山崎 恭子 Yamazaki Kyoko

## 1) 研究目的

本研究は、つくば市中心部から 300m 以内の自転車等放置禁止区域を対象として、現地調査により得られた 12 箇所の迷惑放置自転車集中地区の昼夜の自転車分布を比較することにより、それらを放置の種類に類型化することを目的とする。

## 2) 使用するデータ

Garmin 社製ハンディ GPS で自転車一台ずつのポイントデータを取得した。時間は同日の昼間 14 時ごろと夜間 0 時ごろである。

## 3) 分析

：迷惑放置自転車分布を Spatial Analyst のカーネル密度測定で分析し、集中傾向を明らかにし、昼夜で比較した。

：放置自転車と駅との近接性を導くため、駅から 50m ごとのバッファ内に含まれる自転車に対して考察した。

：放置自転車と駐輪場との近接性の特徴を導く

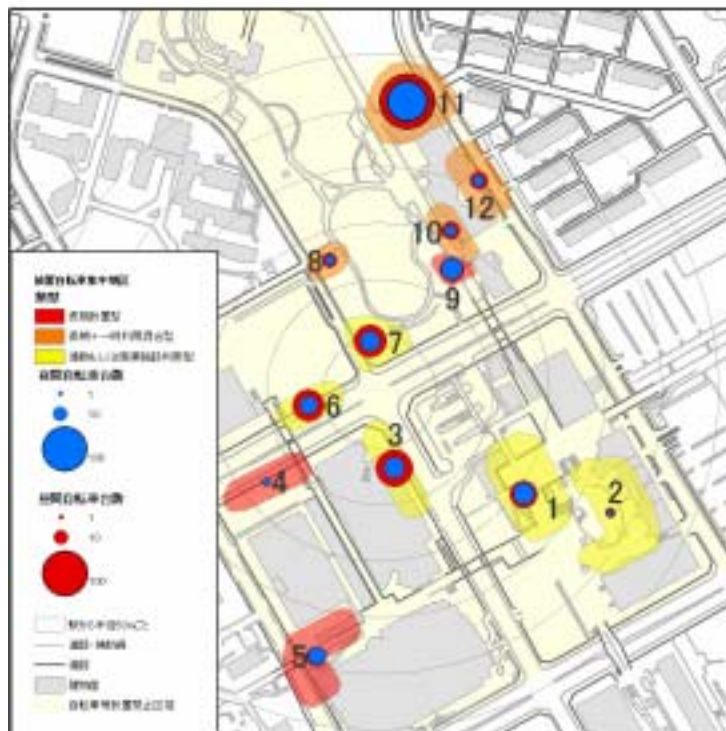
ために 20m, 50m をバッファし、その中に含まれる自転車含有率の高さを考察した。(第 2 図)

## 4) 結果・考察

本研究の目的である類型わけは第 1 図の地区ごとの色分けによってわかる。1・2 では昼夜減少率は低いものの、警告札が貼られていないものが多く、商業施設への近接性も高いため一時利用型であるといえる。3,6,7 は駅や商業施設への近接性が非常に高く、駐輪場とは近接せず、減少率が高く警告札も多いことから朝の通勤を含む駅・商業施設利用型といえることができる。

また 4,5,9 は減少せず、警告札が古いものであるということから、長期放置型とする。

アルスホール周辺 8,10,11,12 は、警告札が多いが減少率も高い。さらに駐輪場と近接しているために目的外の駐輪（駅利用など）が見られる混合型だといえる。



第1図 つくば市における放置自転車地区類型



第2図 駐輪場から50m範囲内の自転車分布

